

# 市民サイドからも招請

## 駐日米国大使館へ米沢の議員有志が訪問

キャロライン・ケネディ駐日大使を米沢に招へいする動きが大きくなり、米沢市議団有志9人が17日、東京のアメリカ大使館を訪れて招請状を首席公使に手渡した。一方、20日には首席公使が県庁を訪れて知事を表敬訪問する予定になっており、招へい運動の輪は拡大の一途となっている。

キャロライン・ケネディ駐日大使を米沢に招へいする動きが大きい。米沢市議団有志9人が17日、東京のアメリカ大使館を訪れて招請状を首席公使に手渡した。



首席公使のカート氏(左から4人目)を囲んでの記念撮影(議員団提供)

送り、ほかの自治体でも「ぜひ訪れてもらいたい」との取り組みや思いが高まっている。いずれも県や市を代表した行政サイドの招請であるのに対し、今回の動きはケネディ大使の招聘を願う有志議員団(団長、渡間佳寿美市議)で、17日午前10時半にアメリカ大使館を訪問、本県出身の国会議員の紹介もあり、在日米国大使館の首席公使カート・トン氏と直接面会、市民サイドとしての招請をしたという。

内容的には「ケネディ大統領の国が何をしてくれるのではなく、国に何をできるのかを考えてほしい」との言葉は、我々の心に刻み込まれている。自らの利益だけを追求するのではなく、公のため

に尽くすことの重要性について認識することがいま再び求められている。大使閣下、ご都合のよろしい時に米沢市に訪問して頂ければ市民全員で歓迎いたします事をお約束します」となるとなっている。

訪問したのは島軒純一議長、海老名愷、工藤正雄、齋藤千恵子、相田光昭、中村圭介、佐藤忠次、堤郁夫、渡間佳寿美の各議員。開會中の12月定例会初日の本会議では、総括質疑でケネディ大使招請について市長の取り組み姿勢が質問されていた。

一方、20日には首席公使のカート・トン氏が県庁に吉村美栄子知事を表敬訪問することになっており、ケネディ駐日大使の招へい機運は高まっている。この訪問について県商工労働部観光経済交流局経済交流課国際室の島貫誠室長は「カート・トン氏の表敬訪問は11月上旬に決まっていたもので、国内視察の一環で訪問される。この際には大使の招請も行われるのではないかなどと話している。